

平成25年4月30日
水産庁

水産物の市況について（平成25年4月及び5月）

—東京都中央卸売市場における平成25年4月（平成25年3月21日～4月20日集計）の市況と、
平成25年5月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べかなり増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成25年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼、日本海中部水域、富山湾、山陰近海、九州北部）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケがやや増加するものの、冷凍原料、製品ともに前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、需要も落ち気味のため、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は端境期を脱し、前月と比べ増加が見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量はやや増加と見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は需要期も過ぎて、赤身類、脂身類ともに前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は需要や品質が良くなることから横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	4 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
25年	53	800	41	820	48	774
前年	46	846	39	831	41	807

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	4 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	417	104	121	89
さけ・ます（平均）	568	97	90	91
（ぎんざけ塩蔵品）	525	100	82	79
（あきさけ塩蔵品）	420	100	95	95
（ときさけ塩蔵品）	840	100	105	112
（べにざけ塩蔵品）	900	100	106	100
（さけ類冷凍品）	558	100	96	95
さば（生鮮品）	434	95	119	114
するめいか（平均）	505	106	118	112
（生鮮品）	741	143	108	95
（冷凍品）	433	100	117	123
あじ（生鮮品）	661	106	106	114
まぐろ（冷凍品）	1,098	92	75	78
（めばち冷凍品）	732	101	71	74
（きはだ冷凍品）	574	104	62	66
（くろまぐろ冷凍品）	3,620	92	90	101
（みなみまぐろ冷凍品）	1,744	103	72	77
かつお（生鮮品）	996	131	125	78

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：4月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田、安井
 直通 03-3591-5612